



南房総のハモヒ

[発行]

南房総教育事務所 指導室

令和2年1月8日

第 5 号

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて 授業づくりを共に考えましょう！

小学校では令和2年度から、中学校では令和3年度からの新学習指導要領全面実施に向け、各学校では様々な準備を行っていることだと思います。そして、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、校内や校外で様々な研修を重ね、授業改善に取り組まれていることだと思います。

今年度も多くの学校へ訪問させていただきました。目の前の子どもたちと共に、「わかる・楽しい授業」を創ろうと努力されている先生方に出会い、共に勉強させていただくことができました。先生方の日々のたくさんの努力が、南房総の子どもたちの将来につながります。

安房地区では、「若手教員育成事業研修会」において、授業実践研修に取り組んだ若手教員の皆さんが多くいらっしゃいました。その様子の一部を紹介させていただきます。

10/4 第9回若手教員育成事業研修会（安房地区） 授業実践研修の様子

授業者：南房総市立三芳小学校 上野亮介 教諭（2年目） 算数（第6学年）『速さ』



ベテランの先生方の講話・模範授業に続き、若手教員の方々の授業実践研修会が行われました。この日は、推進員2名、安房地区若手教員9名、校内の先生方が参観し、研究授業が行われました。ティームティーチングの機能を生かしながら、児童の話し合い活動を充実させ、速さの比べ方を見いだす授業でした。日頃から児童の表現力を高めようと意識されていることがよく伝わってきました。また、授業の構想や指導案作りを通して、「校内の先生方全員で、若手教員を育てていこう」という雰囲気も伝わってきました。

【参加者感想】

- ・単学級だと同じ学年の授業を見ることができないので、よい機会となった。
- ・児童にとってわかりやすい授業を考えるよい時間となった。
- ・先生方の協議を聞いて押さえておくべき点や高学年における目指す姿がわかり勉強になった。

実際に指導案を作り、授業を展開し、研究協議をする。そこで得た成果や課題をもとに、次の授業の計画を立て実践をする。このPDCAサイクルによって、授業力は向上していくことと思います。

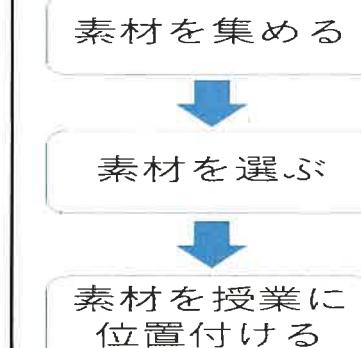
裏面では、『授業づくり』のポイントを紹介しています。
共に授業改善に取り組みましょう！



授業づくり[国語編]

- ◎いろいろな素材があります。
- 雑誌 ○ネットニュース
- 絵本 ○映画 ○マンガ
- 有名なスピーチ
- 地域関連 等

児童生徒に実態や地域の特性も考えながら探してみましょう。



参考：千葉県総合教育センター
『授業づくりガイドブック』(H27改訂版)

主体的な学びを生むために

身の回りにある素材を教材にして、魅力ある授業づくりを進めよう

いろいろな素材を教材にしよう

新聞を使って 考えよう。



新聞の教材としての魅力って……

多くの要素が含まれている

- 例
- ・新聞の題名
 - ・紙面の構成
 - ・見出し
 - ・記事の種類
 - ・写真・絵・グラフ
 - ・広告 等

★新聞のおもしろさ！

- ・複数の新聞社が発行している。
⇒同じことでも、新聞社・記者によって書き方が異なる。
- ・テレビ番組の新聞の紹介コーナーで面白さを感じることもできる。



◎授業づくりに大切なことに「素材選び」があります。本単元で育成すべき資質・能力が身に付くような素材選びをしましょう。実は身の回りには教材となる素材がたくさんあります。

授業づくり[算数編]

主体的な学びを生むために

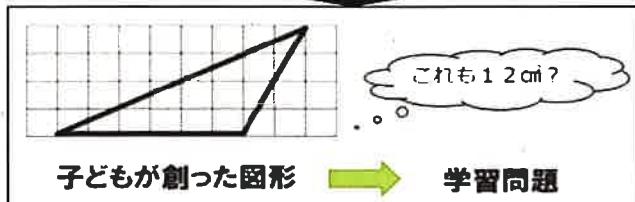
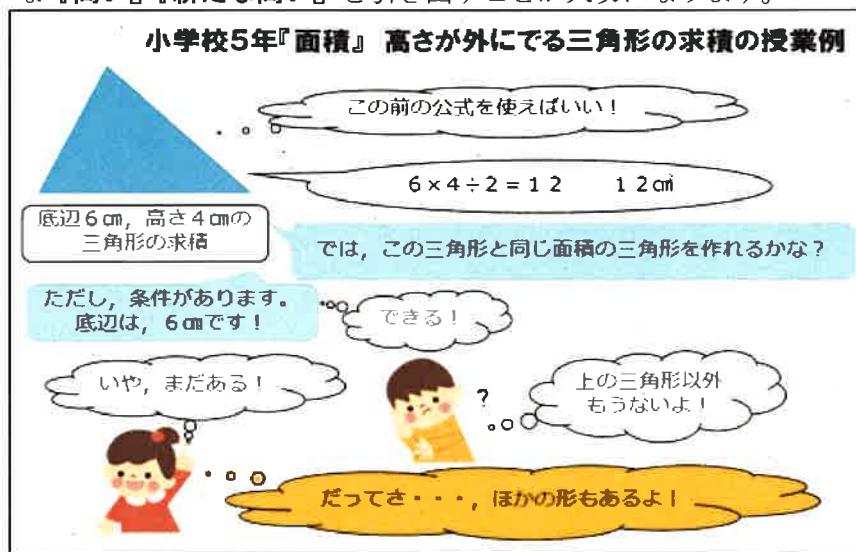
単元の本質を見極め、「問い合わせ」を引き出そう！

「与えられた課題」を「自分ごとの問題」に変えるためには、子どもが疑問や不思議に思う気持ちをもつような『問い合わせ』『新たな問い合わせ』を引き出すことが大切になります。

教材や提示の仕方を工夫してみると
子どもが自ら追究したくなる授業へと変わります。

- 例)・教材にしきけを盛り込む
- ・学習課題を子どもと共に創る
- ・ゲームの中から学習課題を創る
- ・「問題をつくる」授業に変える
- ・答えがたくさんの問題にする
(オープンエンドアプローチ)
- ・発展的に考える態度を養う
「～だったらどうだろう」
「数を変えてみたら……」
「場面を変えてみたら……」
- ・統合的に考える態度を養う
「AとBは似ている。調べたいな。」

小学校5年『面積』高さが外にでる三角形の求積の授業例



子どもが創った图形 → 学習問題

教材の見方を変えるだけで、子どもと共に創る授業が楽しくなります。